



ニューヨーク  
補習授業校  
学校だより

日本語を話す仲間と日本語で学ぶ補習校

# 補習校協育



令和7年(2025年)4月4日

第1号

校長 小島 昇

## 卒業式から入学式へ 令和7年度の始まりです！



3月15日の卒業式から3週間。4月に入りニューヨーク補習授業校の令和7年(2025年)度が始まります。

卒業式では80名の児童生徒に卒業証書を授与しました。補習校の卒業式で特徴的なのは、答辞を述べる児童生徒が6名いる点です。L1校・W校の初等部・中等部・高等部代表が、卒業にあたっての自分の思いを伝えました。どの答辞も、これまでの苦労を振り返りつつ、補習校で学び続けたことで得られた自信に満ち溢れるものでした。支えてくれた両親への感謝、卒業の日を迎えた達成感、これからの生活への決意や自分の未来への希望などが丁寧な日本語で述べられ、式場からは大きな拍手が沸き起こりました。答辞の原稿の一部を本校ホームページに

て公開していますので、お時間のあるときにご覧ください。

[2024graduation1.pdf](https://www.ny-nj-japanese-schools.com/2024graduation1.pdf)



## 日本語を話す仲間と、日本語で学ぶ補習校

また、卒業式で改めて実感したのは、補習校で共に学んだ仲間と育んだ絆が強力であるということです。どの答辞にも、一人ではなく仲間と一緒に苦労し、乗り越えてきたことが表現されていました。また、来賓として臨席して下さった在NY日本国総領事館森首席領事、NY日本人教育審議会久保会長からは、お二人ともご自身が補習授業校に在籍され、そのときの仲間との絆が今も続いている経験から、補習校で学んだ経験や補習校で出会った仲間を大切にし、未来を切り開いていってほしいと祝辞が送られました。補習校は日本の学習指導要領に則った学習をしたり、授業で使えるレベルの日本語力を習得、維持したり、日本の文化を学んだりする場ですが、それらの学びを支えているのは補習校と一緒に学んでいる仲間です。週に一日の土曜日は、日本語を話す仲間と、日本語で学ぶ貴重な時間であることを、本年度は子どもたちの発達段階に応じて伝えていきたいと考えています。



## 補習校協育

本年度は学校だよりのタイトルを「補習校協育」としました。「協育」は造語です。タイトルに込めた願いは次の2点です。

- ① 補習校では、子どもたちに協力し合って一緒に育ってほしい（協力して育つ）
- ② 補習校では、教職員・保護者・関係者が協働して子どもたちを育てていきたい（協力して育てる）

これらは、補習校に限らずどの学校でも言えることではありませんが、昨年度一年間ニューヨーク補習授業校に勤務する中で考えてきたことです。補習校は週に1日の学校ですが、現地校や地域の諸活動との両立は簡単なことではありません。それでも、がんばって補習校で学び続けている子どもたちがいます。日本語を話す仲間と一緒に、苦楽を共にしながら補習校での学びを進めていってほしいと願っています。また、保護者の皆さんの負担を理解しつつも、やはり保護者の協力無くして補習校の教育活動の充実はありません。教職員がやって当たり前、保護者がやって当たり前と線を引くのではなく、補習校では子どもたちに何をどこまで提供するのか、そのために教職員・保護者・関係者は何ができるのかを一緒に考え、協働して子どもたちを育てていきたいと願っています。本年度もよろしく願いいたします。

## インスタのフォローをお願いします

学校を保護者や関係者、入学希望者等に知っていただくため、本年度も学校だよりを継続して発行してまいります。インスタグラムでの発信にも力を入れていく予定ですのでフォローをよろしく願いいたします。左が本校単独、右がNY/NJ4校のインスタQRコードです。

